

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

March 2017

Écoutez Bien Vol.35 No.388

3

サブカル大国「日本」は立川から



冬の日の出(泉町)

桑の苗なら日本一

案内人：豊泉喜一氏



おらが名物かずかずござるよ

麦にさつまに櫟の並木 桑の苗なら日本一

この歌は昭和21年、戦後再発足した砂川村青年団が選定した「砂川音頭」の一節で、今から70年余り前の砂川地域の景観と生産物を唄いこんでいる。作詞は当時南部住宅と言われた現在の栄町3丁目に住んでいた松本一晴氏で、当時の青年団役員が自転車で村内を案内して作詞の参考にしたと言われる。

砂川の土地は火山灰が堆積してできた土壌の乾燥地帯で、地力の乏しい畑作主体の純農村であった。主な生産物は大麦小麦、さつま蒔と養蚕が盛んに行われ、蚕の唯一の飼料である「桑」苗の栽培が「桑の苗なら日本一」と言われるほどだった。

前に述べたように、砂川は地力のない痩せた土地であり、作物が生育するためにヒゲ根という細い根を沢山つけるので、桑苗も他産地のものと比べ、植栽後の活着率や生育に格段の差があることが評価され、砂川の桑苗は質・量ともに日本一と言われるようになった。

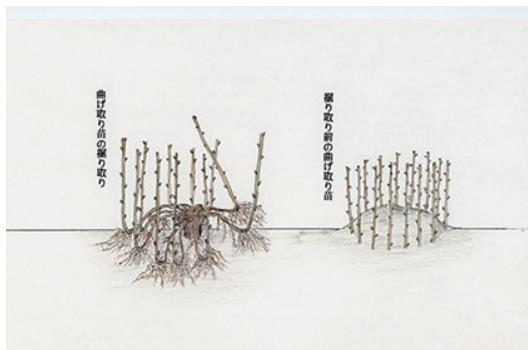
一般に桑苗の生産は、良い種類の親木の枝を地面に誘引して伏せて発根させる「曲げ取り方」と、小学唱歌「ふるさと」の歌詞にある「山の畑の桑の実」から種を採り、その種を播いて「実生苗」を作り、それに良い種類の枝を接ぐ「接木方」で育成する。

大正15(1926)年3月に、東京府桑苗同業組合が発行した組合員名簿によると組合員数344人中、砂川村が単独で213人、府下23町村で131人と砂川村が圧倒的に多く、歴代組合長は砂川出身者が就任、これを見ても如何に生産が盛んであったかを物語っている。

明治維新後絹織物が輸出の主役になり、養蚕業が盛んに行われるようになると、蚕の飼料である桑の苗の注文が、関東各地はもとより北海道を除く全国各地から寄せられた。桑苗問屋が次々にでき、五日市街道に面した屋敷の入口に「桑苗」と書かれた看板が数多く見られた。中には皇居に桑苗を納入し「宮内庁御用達」と書かれた家もあったが、いまではすべて姿を消してしまった。

現在では化学繊維の発達と養蚕業の衰退により、桑苗の生産は全く無くなってしまった。桑苗生産が盛んであった頃、毎年正月の2日には桑苗の初荷が行われ、馬がひく荷車に桑苗を積んで初荷の旗を立て列を作って続き、荷車の上から若い衆がミカンを投げながらにぎやかに立川駅に向かう景観は、正月の風物詩であったと言われる。

砂川にある小中学校の校章には「桑」の葉がデザインされたものが多い。



桑苗の畑

サブカルは 古典への入口

『うた恋い。』から百人一首へ、 サブカルから古典の研究者が生まれる可能性

和歌は人気がない、学生が食いつかないと言う前に
漫画を入口に、潜在的な古典好きを掘り起こす

日本人が好きな「レトリック」

就職活動などで自己アピールしてくださいという場面がよくあります。「私は真面目で仕事に情熱を持って働ける、そういう人材です」というストレートなアピールの仕方って当然ありますよね。でも例えば「私は水のような人間です。器によってさまざまに形を変えられるので、御社という器に合わせる自信があります」という言い方をすることもできます。どちらがインパクトが強いと言ったら、後者ではないでしょうか。これはレトリックです。同じことを伝えるにしても、少し工夫するだけでまったく伝わり方が変わってくる。まさに和歌がそうなのです。SNSが盛んな現代では、短い言葉でやり取りするのが普通になっています。ちょっとした言い回しはレトリックに凝ると、相手に「おっ!」と思わせることができる。そういう時代だからこそ、SNS世代は和歌への親和性が高いのではないかなと思っています。レトリックは教えられてできるという部分もありますが、本能的にやりたいことではないでしょうか。だからこそ、日本にはこんな表現の歴史があるのだと知ることは大切だと思いますね。レトリックの部分を排除してしまうと、言葉の文化がとても痩せた文化になります。あまり構えずに、ごく自然に私たちの中にあるものだと思ってみて欲しい。面白いと思わない人もいるかもしれませんが、潜在的に面白いと思っている人に、日本語を書いた

り話したりする中での豊かな部分だと、その魅力を知ってほしいですね。だってね、これだけ大喜利とかなぞかけとかが好きな国なんですよ。夜中にNHKで放送しているケータイ大喜利にしても、「うまいこと言うなあ」ですよ。和歌だって同じで、「うまいこと言うなあ」「上手に作ったなあ」という見方で、面白さを知ってほしいです。

私は新古今時代の和歌の研究をしています。本歌取りの研究ですね。高校の古典の授業などでは本歌取りを、「古い歌の言葉を使って自分の歌を作ること」と説明していますが、それだけではなくて、昔の言葉が「わかる人にはわかる」キーワードになっているのです。昔の人たちにとってはごくごく常識的なことだったのですが、今の私たちには常識ではないので、もうそれがわからない。パロディもそうですが、それに気づいた時には「そうか!そういうことが言いたかったのか」と作者の気持ちや意図がわかる。それが面白いのです。ある時甥っ子と映画「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶジャングル」を観ていたら、ディティールがちょっとずつ1970年代風なんですね。最初はなぜこんな風になっているのかわからなくて。でもふと「これ、コッポラの『地獄の黙示録』のパロディなんだ」と分かった時、もやもやしていたものがすっきりしました。パロディとか本歌取りは作者の意図がパッと見える瞬間があります。そこが気持ちよくて楽しいところです。本歌取りやパロディの文化

は息が長いですけど、わからないまま放っておかれたら作り手にとって残念なことになるじゃないですか。作者が仕込んだなぞなぞが解ける感じが、私は一番面白い。これか!みたいな(笑)。

1500万部も売れてる『ちはやふる』

ご覧のように、私の書棚はそっちもこっちも漫画です(笑)。こちらの中公文庫版の「マンガ日本の古典」は漫画家を選んでいるのでいいシリーズだと思いますね。実力のある有名な漫画家が描いています。『今昔物語』は水木しげる、『平家物語』が横山光輝、『太平記』はさいとうたかを。セレクトというかテーマと漫画家の組み合わせがいいんです。古典は漫画家にとっても題材の宝庫だと思います。夢枕獏が原作ですが、『陰陽師』などもいいところに目をつけたと思いますね。

『ちはやふる』『超訳百人一首 うた恋い。』『とりかえ・ばや』といろいろありますが、ここを古典のスタートにしている人っていると思うんです。研究者はこういうものがあるのは知っているし、ちょっと手に取ったことはあるかもしれない。けれどあまりこうした漫画を大事にしない。私はもっと大事にしてもいいのではないかなと思っています。私自身、古典文学への扉が『あさきゆめみし』でしたから。

『ちはやふる』なんて1500万部も売れているんですよ。1500万部も売れているという

小山順子氏

京都生まれの京都育ち。京都府立大学、京都大学大学院と進学した。最初の就職先が奈良で、ここでも関西から出ることはなかった。関西での居心地は良かったが、ワンステップ成長したいと国文研の公募に応募。資料も多く、第一線で活躍する先生方が揃う研究の本場、憧れの国文研で4年目を迎えている。現在は立川在住。国文学研究資料館 研究部 准教授。

ことは、それだけの人が百人一首に触れているということ。毎年、競技かるたの名人戦、クイーン戦がありますが、『ちはやふる』はその競技かるたに没頭する女子高生の話です。これだけ文学は人気がないとか古典からみんなが離れていくと嘆くなら、1500万部売れている漫画にも目を向けたらいいのではないかなと思っています。私は結構本気で読んでますよ(笑)。和歌って枕詞とか掛詞とかでわかりにくいと言われてしまうのですが、そのハードルをちょっと越えてくれれば、今までの自分の会話とは違う面白い世界が広がっていると感じてほしい。

様々な出版社から多くの学習漫画が出ているのですが、『ちはやふる』等とは全然違うと私は思っています。前者は勉強したい人しか読まない。古典の勉強のためにある漫画ですね。『あさきゆめみし』をネット検索すると「センターの古文対策に最適」と出てくる。センター試験を受ける人って国民の何割いますか?『ちはやふる』はセンター試験などに関係なく、競技かるたを頑張っている女子高生の話を読みたい人が、エンタテインメントとして読むわけです。結果的に和歌にも触れることになる。学習漫画は、それはそれで素晴らしい役割があると思うのですが、私は『とりかえ・ばや』や『ちはやふる』のように一般の商業ベースに乗っている漫画の力はものすごく大きいと思っています。私が小学生の頃は『あさきゆめみし』を普通に少女漫画として楽しんで読んでいましたが、今はやっぱり源氏物語の勉強のためにということになっていて、少し残念な気がしますね。

漫画から古典にいざなう

入口って大事ななあと思います。大学で教えていた時よりも今の方が強くそう思います。もちろん賛否両論はありますが、いずれにしても入口を用意することはとても大事です。

私は国文研で「青少年に向けた古典籍イ

ンターフェースの開発」のプロジェクトを受け持っているのですが、まだ本格的に古典の勉強を始めている人たちにどうやってアプローチするかのヒントが漫画にあるのでは?と思っています。元の古典に忠実かどうかよりも、その古典の一番面白いところを伝えるよう漫画化してくれたら、それでいいと思うんです。私が小中学生の時っていい時代だったのかもしれない。『あさきゆめみし』が流行っていました。また、氷室冴子が『ざ・ちえんじ』という小説を書いていて、その元は平安時代の『とりかへばや物語』なんです。『とりかへばや物語』は原作として人気があって、現在、さいとうちほの『とりかえ・ばや』が連載中。男女逆転を扱う『とりかへばや物語』は心理学の観点からも注目されています。できることなら男女逆転してみたいと思った人が1000年前にもいたのでしょうか。そこが作品の一番面白いポイントだし、昔の人も今の私たちと同じなんですね。

大学の勉学はアカデミックでしっかりした学術的内容を教えるものだという方は多いです。大学の教育にあまり漫画のようなものは使いたくないという方もいらっしゃると思いますが、それに応えられる学生ばかりではなくなっています。『うた恋い。』は百人一首を漫画にしているのですが、言葉でどれだけ説明しても難しいことが、和歌と漫画を合わせて説明すると非常にわかりやすくなる。古文は難しいわからないという学生に、すごく大きい力になるのではないかなと思います。

『文豪ストレイドッグス』ってご存知ですか? 昨年の夏にはコンビニとタイアップ企画もやっていましたね。太宰治、芥川龍之介、

中島敦、谷崎潤一郎といった文豪がイケメンにキャラクター化されて、特殊能力を発揮してバトルする漫画です。作家がキャラクター化されているだけといえただけなので、以前の私だったら通り過ぎてしまったでしょう。でもね、この「文スト」のおかげで今まで谷崎潤一郎を知らなかった子が、その名前を知るわけですよ。しかも必殺技の名前が代表作から来ている。『細雪』とかね。中島敦の『山月記』という必殺技は虎に変身できる能力。与謝野晶子は『君死給勿(君死に給ふことなかれ)』で治癒能力、生き返らせることができる(笑)。人気声優を使ってアニメ化もされていて、森鷗外記念館ともコラボ企画してましたね。

『月に吠えらんねえ』は萩原朔太郎の「月に吠える」から名を取って、近代詩歌の作者をイメージした漫画です。流行物はバカにらないと思いますよ。一過性のものになりがちですが、何がどのようにヒットしているのかは知っておきたいですね。

立川はミニ秋葉原と言われていますよね。『聖☆おにいさん』が実写化されますでしょ? ますます注目の街なのではないですか?



連携で暮らしを豊かに

——清水庄平立川市長

『魅力あふれる多摩地域の創生の実現に向けて』

1月31日(火)、立川市長の呼びかけで
立川隣接8市の首長が集まった
連携で市民ファーストの街づくりを模索する

——市長の考える連携とは？

市長 たくさんありますが、まず図書館の連携。すでに立川は昭島・国立・国分寺・東大和・武蔵村山の5市と相互利用できるようになっています。次の段階として、この5市同士お互いに連携してもいいわけです。私としては図書館の連携をもっと濃密に、例えば9市全体が1枚のカードでお互いに利用できるといいなと思っています。

——立川市中央図書館は国立国会図書館の学術文献貸出承認館、総合目録参加館になっていますね。とても助かっています。

市長 中央図書館は駅のそばですしね、とても便利なようです。

——図書館の連携以外には？

市長 すでに少し始まっていますが、保育所や学童保育所の連携ですね。学童保育所が行政境にある場合、空があればどうぞ受け入れますよということです。将来的にはスポーツ施設なども連携したいと思っています。

——10年ぶりの広域連携サミットですが、呼びかけた思いとは何だったのでしょうか？

市長 背景として、前任の青木市長は全国市長会の会長までなされてこの地域の「顔」でした。ちょうどその頃立川にはいろいろな施設が移転してきて、近隣市から自ずと「立川にリーダーシップをとってもらいたい」という雰囲気はあったのです。けれど実際には各自治体それぞれにいろいろな課題があってまとまりにくかった。でも10年という間に、日本全体が人口減少という時代に入

り多摩地区も無関心ではいられない。将来推計を見たら明らかにその傾向を示している。その中でそれぞれの自治体がバラバラに市民サービスをフルスペックで用意はできない。財源基盤を考えると危機感ほどの自治体も持っているにちがいないわけです。

——なるほど。

市長 各自治体が今抱えている課題は市民サービスとして目に見え易いものもあれば、目には見えませんが行政業務の連携により、サービスを維持しながらコストを下げられるものもあるかもしれない。そういったことをお互いに忌憚なく意見交換できたらと思っていますね。

——おっしゃっていることはとても素晴らしい

いけれど、難しいことです。

市長 自治体の首長さんは一国一城の主ですからね。でも、平成30年度からは国民健康保険も都道府県一括になるといったことを考えると、いずれは同じサービスレベルでやらざるを得なくなるんですよ。

——人口減少は切実ですね。立川の人口も減っているんですか？

市長 いえ、増えています(笑)。

——どの地域が増えているのでしょうか？

市長 西砂町と砂川町あたり。西武立川駅や武蔵砂川駅周辺開発の影響ですね。

——最近の「えくてびあん」の話題は砂川ばかりだと言われるのですが(笑)、市長は南口に関しても言及されています。



市長 柴崎学習館跡地にできる「諏訪の森広場」とか、もう少し時間がかかるけれど現在駐輪場として利用している58街区(モノレール立川南駅の南西)も、平成34年の稼働開始に向け計画を進めています。東京都との合築で1階は駐輪場、デッキと同じレベルのフロアには立川だけでなく周辺市も含めた情報発信拠点を考えています。東京都の施設は、現在国分寺にある「東京しごとセンター多摩」が入る予定です。

——年初に都知事が「観光情報センター多摩を立川市に置く」とおっしゃいました。

市長 今年の6月には稼働したいと聞いています。東京都は三多摩全体を俯瞰してその拠点を立川に置くようですね。我々としては、東京都の動きも見ながら何らかの形で多摩地域の情報発信拠点を作りたい、それも9市の連携の中でその場所を使えればと思っています。

——9市ががっちり連携することで、どの地域の市民も暮らしやすく、ですね。

市長 そうです。賑わいは立川市が創出して、住環境として緑が多いとか閑静とか、そういった価値観で周辺自治体選ばれていくというのも連携の一部ではないでしょうか。個々の自治体で賑わいも作りだしていくというのは、なかなか難しい。立川市としては賑わいとやすらぎのバランスがいい自治体を目指していますが。

——都立多摩図書館が立川から国分寺に移転したのはちょっと寂しかったです。

市長 図書館はじっくり本を探したり読ん

だりしたくて行くわけですから、どこにあっても人は行きます。「東京しごとセンター多摩」は飯田橋に本部があって、そのランチが国分寺にあります。そこが老朽化や手狭になったことから、仕事を探している人が集まりやすい立川に移転してくるわけです。それぞれ目的にあった立地ということで、多摩地域全体の街づくりということになりますね。

——そんな中で立川の将来像をお聞かせください。

市長 「教育と文化を充実させることによって賑わいを作りだす」です。賑わいは持続させなければならない。そのためにファールアートをもっと内外に知らしめたいですね。ファールアートをプロデュースした北川フラムさんは、新潟の越後妻有(十日町市、津南町)で行われている「大地の芸術祭」や、「瀬戸内国際芸術祭」をプロデュースし、今年からは姉妹市の大町でも「北アルプス国際芸術祭」を手がけます。どうです？ 都会、雪、海、山と、いい取り合わせだと思いませんか？ まずは姉妹市の大町からということで、今年の芸術祭には私も中学生の交流事業に合わせて一緒に行こうと思っています。そういう形でアートを通じた交流の突破口を作ればと考えています。一方、大町の方からは小学生の修学旅行の旅程に立川で1泊というのを入れてもらい、立川のいろいろなところを見学して、競輪場の選手宿舎に泊まっ



てもらおう。これが去年の交流事業で来た中学生にはとても評判がよかったんです。お風呂は梅の湯さんへ行ってもらいましたら、子どもたちがもう喜んじゃって(笑)。

——ああ、それはそうですね(笑)。
市長 山ほどマンガが置いてあるから、風呂屋さんから帰ろうとしなかったそうです(笑)。将来的にはアートつながりで、新潟の十日町の方々や瀬戸内のみなさん、大町と本市の4か所循環型の交流にしたいなと思っています。人の交流と教育に熱心な街という将来像が実現できれば、資源が枯渇してなくなるなんていうことはありません。——2020年、立川市内では何がどうなるのですか？

市長 立川市はオリンピックが4人もいる、中にはメダリストもいる東京女子体育大学と連携協定を結んでいるので、なんらかの動きは出てくると思いますね。でも何よりも立川の一番の売りは選手や観光客が宿泊することのできるホテルの存在です。これは多摩地域の他の自治体にはない強みになるんじゃないですか？
——確かに(笑)。お忙しい中、本当にありがとうございました。

(取材日：平成29年1月12日)

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

曙町

立川グランドホテル ……525-1405
カフェ アバン ……527-4479
手打ちそば しゃもと ……529-5468
シンボパン ……522-6211
天ぶら わかやま ……525-0222
多摩水族館 ……524-0288
すし 魚正 ……522-3437
園部肉店 ……522-2901
Cut Studio SOFIA ……528-3241
レストラン いなつき ……528-1470
立川市女性総合センター アイム 528-6801
エミリーフローゲ 立川高島屋店 526-9788
立川高島屋 ギフトサロン ……525-2111
オリオン書房 ノルテ店 ……522-1231
洋食屋 にゅうとん ……522-3921

羽衣町

額縁専門店 プリムベール ……528-6789
たましん 東立川支店 ……524-0611
ギリシャレストラン SHUPOUL 519-3923
林歯科医院 ……522-5657
中島豆腐店 ……522-5732
新鮮野菜・惣菜 立川商店 522-3565
本・事務用品 泰明堂 ……522-3353
本と文具 ないとう ……522-3677
赤松タバコ店 ……524-7852
BB TAKAOKA ……521-0236
まごころ銘茶 狭山園 ……527-0146
お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267

錦町

めがね・とけい・補聴器 カワハラ 525-4427
鳥料理 くし秀 ……522-7692
寿司勝 ……522-4874
IL COVO ……595-9071
イタリア料理 トラットリア ドン シェ〜512-8735
宮地楽器 MUSIC JOY 立川南 526-1779
カフェといいの penta merone 529-5221
中国料理 五十番 ……522-7472
一六珈琲店 ……527-1680
手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店 524-3190
new gyoza 1059 餃子天国 526-2283
イタリアンダイニング asa 529-5668
バル アラディ ……523-3917
CAFE SOMMEILLER ……527-1440
中国整体院 ……529-1088
中国菜館 多味軒 ……526-5925
日本クッキングスクール ……522-3440
元祖5本指ソックス専門店 LASANTE 540-1616
ホテル日航立川 東京 ……521-1111
美容室 アリス ……525-1100
手打ちそば くまはら川 ……595-6810
カフェ あちゃ ……526-2278
FALCO hair ……528-2389
N HAIR WORLD ……523-5336
創作料理 caffe & bar 厨〜kuriya〜595-7449
TTM (株) ……524-5787
Bakery Café Crown ……526-2226
日本空手道 佐藤塾 ……548-7460
三田花店本店 ……524-4187
いわさき痛みの整骨院 ……529-5123
にしや薬局 ……525-9212
たましん RISURU ホール 526-1311
たましん 錦町支店 ……528-0511

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

昭和基地開設60周年

1956年11月8日、第一次南極地域観測隊は東京港晴海埠頭を出発しました。東南極にあるオングル島に日章旗を立て「昭和基地」と命名したのが1957年1月29日午後8時57分、まさにこの瞬間から日本の南極観測の歴史が始まったのでした。以来連綿と続く観測事業、ことに越冬観測により、オゾンホール発見、オーロラの発生メカニズムの解明、氷床掘削による地球気候変動のメカニズムの解明、南極隕石の大量発見、通年の観測による南極海の海洋生態系の解明など、研究成果は積みあがっています。南極観測60年間の科学技術の進歩は素晴らしいのですが、何億年という地球の歴史からみればまだまだたったの60年です。西南極の氷の減少が著しいという報告もありましたが、地球の環境変化はこれからの私たちの生活にどんな影響を与えていくのでしょうか。北極の観測と併せ、今後の南極観測にも今まで以上に研究者の皆さん、協力企業、関係団体の皆さんには頑張ってもらいたい、そんな気持ちで2017年1月29日、「昭和基地開設60周年記念式典」に参加させていただきました。

今年も元気に市民駅伝競走

1月15日、いいお天気でしたがとても寒い日でした。市民駅伝競走と小学生ロードレースが行われました。今年はスタート位置が変わって立川学術プラザ前からスタート。さすが「箱根駅伝予選会」の行われる立川です。年々参観も多くなって、スタート時には沿道に人、人、人。清水市長も「すごい人だなあ」とおっしゃっていました。地区対抗は錦町体育会が、一般の部は昭和第一学園高校陸上部が優勝です。この記録は「今年も」と言うべきもので、錦町体育会は2011年から連続の1位。昭和第一学園高校も2015年にぶっちぎり優勝だった塚一に敗れた以外はずっと1位。さて、来年はどうなるのでしょうか。



スターターは清水庄平立川市長

広域連携サミット

1月31日、統計数理研究所大会議室において、立川市と隣接8市の首長が集まり市域を越える連携で、行政サービスの向上や暮らしやすく魅力あるまちづくりを目指してお互いの意見を述べ合いました。参加したのは、立川市、昭島市、小平市、日野市、国分寺市、国立市、福生市、東大和市、武蔵村山市の各市長とファシリテーターとして統計数理研究所 樋口知之所長。この様子はえくてびあん4月号で詳しくお届けします。



多摩地区で初！

2月1日、錦町に「保育園のついた女性に嬉しいコワーキングスペース Cs TACHIKAWA（シーズ立川）」がオープンしました。オープニングパーティーは大盛況。『私の仕事場が子どもの遊び場、私も子どもも育つ場所』『人とひと、まち、ものをつなげ、新たな価値を地域に生み出すハブとなる』がコンセプト。使命感を持っての船出です。働きたい！何かしたい！と思っているママさんたち、まずは相談してみるといいかもしれませんね。株式会社シーズブレイスは錦町1-4-4 サンニビル2階、お問い合わせは042-512-9958です。



保育スペース



ワーキングスペース

立飛オーロラシアターオープン！

国立極地研究所にある南極・北極科学館。メンテナンスのためしばらくお休みしていたオーロラシアターがリニューアルオープンしました。えくてびあんでは1月号にその詳細を掲載しましたが、実はこのオーロラシアター、地元企業 立飛ホールディングスの寄付金でリニューアルしたのです。1月25日に除幕式がありました。立飛ホールディングスの石戸敏雄会長、村山正道社長、白石和行極地研究所所長とオーロラシアターの番組を制作している宮岡宏教授とで幕を引くと、「TACHIHI オーロラシアター」の文字が！早速皆さんで試写会です。昭和基地から毎日届くオーロラの静止画像をつなぎ合せて動画を作ります。昭和基地はオーロラを見るには最高の立地ですから、まさに降るようなオーロラを見ることができます。以前の投影機だと「色のついているオーロラが見たかった」とお客さまに言われてしまっていたそうですが、今度は大丈夫。赤も緑も紫だってもきれいに見えていましたよ。皆さまもぜひ！休館日は日曜日、月曜日、祝日、年末年始です。



TACHIHI オーロラシアターの除幕式



スパークリングオーロラ 「煌めく」の意だそうです

おじゃましま〜す！——[51]

立川湯屋敷 梅の湯

テレビ局のランキング「東京の個性なお風呂屋さん」で第1位の誉れに輝いたお風呂屋さん。東京で一番若い人が集まるというのだからすごいです。今号の清水市長のお話にもありました。楽しくて時間を忘れる、もっとすごいのはお風呂に入ることさえ忘れちゃうこと。なにがすごいつて、見てください、このご主人のコレクション！



コミックはすでに1万1千冊を超え、フィギュアやZippo、ボトルキャップは数知れず、それらが整然と並んでいます。もちろんコミックは読み放題。ゲームもあれば、テレビも見られます。ご主人の「きれいに並べたい、そこから選びたい」性格は、番台横のお菓子類にも。ポテトチップスの種類が豊富。いろいろな味からひとつを選ぶ楽しみを店主と共有できます。お風呂上りにいただくかき氷のシロップは、今あるだけでも18種類。トマト味なんてここでしかいただけません。ソフトアイスのラインナップもすばらしい！そうそう、忘れちゃいけない。お風呂ももちろん充実しています。とにかく、ものすごく清潔、きれい！お風呂屋さんとはそれが一番。喫煙される方は、2階の港町風喫煙所をお使いください。ここにもご主人の趣味が活きてます。

楽しむ
お風呂屋さん



〒190-0011 立川市高松町3-13-2
TEL 042-522-3800
営業時間
15:00～24:00 (23:45 給湯停止)
年中無休

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

3月号 第35巻 通巻388号

平成29年3月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



作ってみました『江戸ご飯』

かすてら

②

家主貞良卵と小豆餅卵

国文学研究資料館所蔵の『万宝料理秘密箱 玉子百珍』には百三種類の卵料理の作り方が述べられているようですが、『江戸料理レシピデータセット』では一部の料理を分割し、全部で百七種類の卵料理を掲載しています。現代語訳と現代レシピはレシピサイト『クックパッド』の〈江戸ご飯〉コーナーに公開されています。えくてびあんでもそのレシピを参考に江戸ご飯に挑戦！

今月は、みんな大好き「かすてら」に挑戦。鍋に生地を入れて蓋の代わりに行灯の火皿を乗せるようですが、えくてびあんでは蓋も熱することができ鍋を使用しました。上下から温めてじっくり焼くと、ふんわりかすてらのでき上がり。余計なものが入っていない、素材の味と香りがとてもいい。おいしゅうございました。さて、もう一品。小豆餅卵ですが…。江戸の人はどうやって小豆をツルツルのゆで卵にくっつけたのでしょうか？ 水あめを煮て水分を飛ばしてもなかなかくっつかず、ようやく小豆を乗せることでよしとしました。お味ですか？ えくてびあんでは立川産の東京烏骨鶏卵を使用しましたが、卵の風味がより濃く引き出されて、これもごちそうでした。やってみないとわからないものですね！ 江戸時代、卵はまさに「ごちそう」だったそうです。